

令和3年度使用  
中学校用教科用図書  
採択参考資料

国 語

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	国語 701・801・901
15 三省堂	国語 702・802・902
17 教出	国語 703・803・903
38 光村	国語 704・804・904



# 国 語

## I 教科用図書の調査研究に当たって

### 1 調査対象教科用図書

2 東書 15 三省堂 17 教出 38 光村

### 2 調査研究の観点

- (1) 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達段階に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) [知識及び技能] 及び [思考力、判断力、表現力等] の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。

### 3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

## II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(2)(4)
  - ① [知識及び技能] の3事項教材数
  - ② [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数
  - ③ 読書指導について(紹介されている図書の冊数)
- (2) 生徒の実態等に応じる適切な配慮について…………… 観点(2)(4)
  - ① サイズ・ページ構成
  - ② 表記等
  - ③ 資料・付録
- (3) 学習過程について…………… 観点(3)
  - ① 学習の見通し
  - ② 学習活動の取組のポイント
  - ③ 学習の振り返り
- (4) 語彙指導について…………… 観点(4)
- (5) 情報の扱い方について…………… 観点(3)

1 概括的な調査研究

(1) [知識及び技能] の3事項教材数

学 年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項				合 計
	言 葉	漢 字		伝統的な言語文化		言葉の由来や変化	読 書	
				古文	漢文			
1 年	8	6	6	3	1	1	3	28
2 年	6	7	6	3	1	0	3	26
3 年	5	7	6	2	1	1	3	25
合 計	19	20	18	8	3	2	9	79

※事項別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(1)「言葉」……言葉の働き、話し言葉と書き言葉、語彙、文や文章、言葉遣い、表現の技法

(2) [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数

学 年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと			C 読むこと		合 計
	話すこと 聞くこと	話し合う こと	説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1 年	2	1	2	1	3	4	7	20
2 年	2	1	2	1	3	5	7	21
3 年	2	1	1	1	2	4	8	19
合 計	6	3	5	3	8	13	22	60

※領域別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

※古典については、[知識及び技能] に含めた。

(3) 読書指導について (紹介されている図書の数)

学 年	本 編		資料・付録		合 計
	文学的文章	説明的文章	文学的文章	説明的文章	
1 年	50	13	41	16	120
2 年	37	14	34	20	105
3 年	26	22	32	22	102
合 計	113	49	107	58	327

2 生徒の実態等に応じる適切な配慮について

(1) サイズ・ページ構成

学 年	B 5 判		合計
	本 編	資料・付録	
1 年	266	76	342
2 年	268	78	346
3 年	266	88	354

(2) 表記等

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 第1学年では36字×17行、第2、3学年では41字×20行になっている。

(3) 資料・付録

- 学習に関連する音声や映像などの資料を閲覧できる箇所には「Dマーク」が示されており、インターネットに接続することでコンテンツを利用することができる。(巻末に「Dマーク」一覧)  
(各学年の「Dマーク」の数 第1学年23か所、第2学年18か所、第3学年16か所)
- 以下の資料が主に示されている。
  - ・学年に応じた発展的な読み物教材(古典・文学史資料を含む)
  - ・話すこと・聞くこと題材例
  - ・「発想・整理の方法」や著作権、情報の信頼性等、情報に関する資料
  - ・「新出漢字一覧」「常用漢字表」等漢字一覧表
  - ・「学習用語一覧」
  - ・「学びを支える言葉の力」のまとめ及び一覧

3 学習過程について

(1) 学習の見通し

- 巻頭に「○年で学ぶこと」が示されている。
  - ・各領域で、「系統」「教材名」「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」「他領域との関わり(C領域のみ)」「言葉の力」「学びを支える言葉の力」の6項目(C領域のみ7項目)で整理されている。
- 巻頭に「前年度で学んだこと」として各領域で既習事項が示されている。
- A、B領域の教材の冒頭、C領域の教材の末尾にそれぞれ「目標」が示されている。
- A、B領域の教材では、2段組で学習過程が示されている。
- C領域の教材の末尾に「てびき」として「目標」と学習過程が示されている。

(2) 学習活動の取組のポイント

- 各領域で、「てびき」ではどのように学習を進めていくかが具体的に示されている。
- 各領域で、「言葉の力」として身に付ける資質・能力が示されている。
- 「学びを支える言葉の力」では、3領域の学習に関わる基礎的な力を示している。
- A、B領域では、学習過程を示したページの下段に各学習活動のポイントが文章・イラスト、図等を用いて具体的に示されている。

(3) 学習の振り返り

- 各領域の「振り返り」では、身に付けた資質・能力を言語化したり、他の場面に活用したりする課題が設定されている。
- 巻末の「言葉の力」一覧として、3年間に身に付ける力が示されている。

4 語彙指導について

- C領域の教材末尾の「広がる言葉」で、本文中の語句や表現に関する課題が示されている。
- 付録の資料編には、テーマごとに言葉を分類した「言葉を広げよう」が示されている。
- 「学習用語一覧」として、「学びたい用語」が示されている。

5 情報の扱い方について

- 「学びを支える言葉の力」の「論理的な言葉の力」系統では、比較や分類、情報の整理の仕方、意見と根拠、情報と情報との関係の捉え方について取り上げられている。
- 学習課題の導入として、「学びの扉」が漫画で示されている。
- 資料編には、学年ごと段階的にまとめられた「著作権と引用」「著作権を考える」「情報の信頼性を考える」という情報の整理の仕方についての資料が掲載されている。

1 概括的な調査研究

(1) [知識及び技能] の3事項教材数

学 年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項				合 計
	言 葉	漢 字		伝統的な言語文化		言葉の由来や変化	読 書	
				古文	漢文			
1 年	6	4	1	3	2	1	3	22
2 年	6	3	1	3	2	0	3	20
3 年	5	2	1	2	2	1	3	18
合 計	17	9	3	8	6	2	9	60

※事項別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(1)「言葉」……言葉の働き、話し言葉と書き言葉、語彙、文や文章、言葉遣い、表現の技法

(2) [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数

学 年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと			C 読むこと		合 計
	話すこと 聞くこと	話し合う こと	説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1 年	1	1	2	2	3	3	7	19
2 年	1	1	2	2	3	4	6	19
3 年	1	1	3	2	0	4	6	17
合 計	3	3	7	6	6	11	19	55

※領域別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

※古典については、[知識及び技能] に含めた。

(3) 読書指導について (紹介されている図書の数)

学 年	本 編		資料・付録		合 計
	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	説明的な文章	
1 年	41	40	24	1	106
2 年	58	33	30	1	122
3 年	53	41	31	3	128
合 計	152	114	85	5	356

2 生徒の実態等に応じる適切な配慮について

(1) サイズ・ページ構成

学 年	B 5判		合計
	本 編	資料・付録	
1 年	274	83	357
2 年	278	79	357
3 年	260	81	341

(2) 表記等

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 第1学年では40字×18行、第2、3学年では43字×20行になっている。

(3) 資料・付録

- 学習に関連する資料(図表を含む)を閲覧できる箇所にQRコードが示されており、インターネットに接続することでコンテンツを利用することができる。  
(各学年のQRコードの数 第1学年6か所、第2学年5か所、第3学年4か所)
- 以下の資料が主に示されている。
  - ・学年に応じた発展的な読書教材(古典・文学史資料含む)
  - ・「学習用語辞典」
  - ・「語彙の広がり」
  - ・「思考の方法」一覧
  - ・「0年生で学ぶ漢字字典」「常用漢字表」等漢字一覧表
  - ・「読み方を学ぼう」一覧

3 学習過程について

(1) 学習の見通し

- 巻頭に「領域別教材一覧」が示されている。
  - ・各領域で、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「言語活動」「教材名」の4項目で整理されている。
- 各教材の冒頭で「目標」、末尾で「学びを振り返る」が示されている。
- A、B領域の教材では、「学習の流れ」として、2段組で学習過程が示されている。
- C領域の教材の末尾に「学びの道しるべ」として目標と学習過程が示されている。

(2) 学習活動の取組のポイント

- A、B領域では、学習過程を示したページの下段に各学習活動に取り組むためのポイントが文章、イラスト、図等を用いて具体的に示されている。
- C領域では、教材と関連した「読み方を学ぼう」が示されている。
- C領域では、「思考の方法」として課題と関連付けられた考えを整理・深化する方法が示されている。
- C領域では、「学びを広げる」として自分の考えを問う学習課題が示されている。

(3) 学習の振り返り

- 各領域の「学びを振り返る」では、身に付けた資質・能力を言語化したり、他の場面に活用したりする課題が設定されている。
- C領域では、「学びを振り返る」に「振り返りのキーワード」が示されている。

4 語彙指導について

- C領域では、教材に出てくる語句の類義語や対義語が記載されている。
- 教材末尾の「語彙を豊かに」で、学習内容に関係した語句や表現に関連したテーマを設定し、語句が紹介されている。
- 付録にテーマごとに言葉を分類した「語彙の広がり」が示されている。

5 情報の扱い方について

- 全ての学年に「情報を関係づける」という単元を位置付けている。
- 領域別教材一覧で、「情報の扱い方」の観点を設け、各学年の指導内容が示されている。
- 全ての学年の資料編「情報を活用する」で、情報の探し方や著作権について同じ内容が示されている。

1 概括的な調査研究

(1) [知識及び技能] の3事項教材数

学 年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項				合 計
	言 葉	漢 字		伝統的な言語文化		言葉の由来や変化	読 書	
				古文	漢文			
1 年	5	5	3	2	1	1	2	19
2 年	6	5	2	2	1	0	2	18
3 年	6	5	2	2	1	0	2	18
合 計	17	15	7	6	3	1	6	55

※事項別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(1)「言葉」……言葉の働き、話し言葉と書き言葉、語彙、文や文章、言葉遣い、表現の技法

(2) [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数

学 年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと			C 読むこと		合 計
	話すこと 聞くこと	話し合う こと	説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1 年	3	1	3	1	1	5	6	20
2 年	4	1	2	2	1	6	6	22
3 年	3	2	3	1	0	6	9	24
合 計	10	4	8	4	2	17	21	66

※領域別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

※古典については、[知識及び技能] に含めた。

(3) 読書指導について (紹介されている図書の冊数)

学 年	本 編		資料・付録		合 計
	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	説明的な文章	
1 年	53	39	23	1	116
2 年	51	41	24	0	116
3 年	52	29	37	3	121
合 計	156	109	84	4	353

2 生徒の実態等に応じる適切な配慮について

(1) サイズ・ページ構成

学 年	B 5 判		合計
	本 編	資料・付録	
1 年	284	70	354
2 年	304	62	366
3 年	294	60	354



(2) 表記等

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 第1学年では36字×17行、第2、3学年では42字×20行になっている。

(3) 資料・付録

- 学習に関連する音声や動画、ワークシート、解答用紙などの資料を閲覧できる箇所にQRコードが示されており、インターネットに接続することでコンテンツを利用することができる。  
(各学年のQRコードの数 第1学年36か所、第2学年36か所、第3学年36か所)
- 以下の資料が主に示されている。
  - ・学年に応じた発展的な読書教材 (古典・文学史資料含む)
  - ・「アイデアの出し方」(1年)「レポートの書き方」(2年)「模擬面接をしてみよう」(3年)
  - ・「話すこと・書くことテーマ例集」
  - ・「学習に必要な用語 (索引)」
  - ・「〇年生で学習した漢字」「常用漢字表」等漢字一覧表
  - ・「理解に役立つ言葉」(一覧)・「表現に役立つ言葉」(一覧)

3 学習過程について

(1) 学習の見通し

- 巻頭に「言葉の地図」が示されている。
  - ・各領域で、「教材」「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」「学びナビ」の4項目で整理されている。
- 各領域の教材の冒頭に「目標」が示されている。
- 各領域で、学習過程が1ページで示され、目標に関連する活動が色分けされている。
- A、B領域では、2段組で学習過程が示されている。
- C領域で末尾に「みちしるべ」として、学習過程が示されている。

(2) 学習活動の取組のポイント

- 各領域の教材の冒頭に「学びナビ」として、「何を」「どのように」学ぶのかが示されている。
- 各領域で、「ここが大事」では学習のポイントが具体的に示されている。
- A、B領域では、学習過程の下段に各学習活動に取り組むためのポイントが文章・イラスト、図等を用いて具体的に示されている。
- C領域「学びナビ」で、「読みの扉を開く」として基本となる読み方等が、「こう読みを深めよう」として教材本文に関する読み方等が示されている。

(3) 学習の振り返り

- A、B領域では、「学びを生かそう」で学習したことを日常生活や他教科で活用する場面例が示されている。
- 各領域の「振り返り」で目標に対応した振り返りの観点が示されている。

4 語彙指導について

- C領域では、「みちしるべ」のページにある、「言葉と表現」では教材に関係する語句の語感や使い方について説明され、「この教材で学ぶ言葉」では語句がまとめて記載されている。
- 付録に「理解に役立つ言葉」と「表現に役立つ言葉」という折り込みがあり、テーマごとに語句や表現が分類されている。
- 「言葉の小窓」で日常生活を振り返りながら課題が提示され、解説編で解説されている。

5 情報の扱い方について

- 巻頭に「言葉の地図」として、各教材で情報・語彙・技法のどの知識及び技能を扱うかが示されている。
- 文章だけではなく、写真やイラストなども、情報を伝達する手段として教材化されている。
- SDGsが国語の視点で教材化され、総合的な教材として示されている。

1 概括的な調査研究

(1) [知識及び技能] の3事項教材数

学 年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項				合 計
	言 葉	漢 字		伝統的な言語文化		言葉の由来や変化	読 書	
				古文	漢文			
1 年	6	5	6	3	1	1	4	26
2 年	8	5	6	4	1	0	4	28
3 年	5	4	4	4	1	1	4	23
合 計	19	14	16	11	3	2	12	77

※事項別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(1)「言葉」……言葉の働き、話し言葉と書き言葉、語彙、文や文章、言葉遣い、表現の技法

(2) [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数

学 年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと			C 読むこと		合 計
	話すこと 聞くこと	話し合う こと	説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1 年	5	2	4	4	4	5	10	34
2 年	3	2	5	3	3	4	10	30
3 年	4	2	3	2	1	4	9	25
合 計	12	6	12	9	8	13	29	89

※領域別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

※古典については、[知識及び技能] に含めた。

(3) 読書指導について (紹介されている図書の冊数)

学 年	本 編		資料・付録		合 計
	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	説明的な文章	
1 年	56	25	11	1	93
2 年	48	36	43	2	129
3 年	52	34	19	1	106
合 計	156	95	73	4	328

2 生徒の実態等に応じる適切な配慮について

(1) サイズ・ページ構成

学 年	B 5 判		合計
	本 編	資料・付録	
1 年	262	78	340
2 年	258	78	336
3 年	230	94	324

(2) 表記等

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 第1学年では37字×16行、第2、3学年では42字×20行になっている。

(3) 資料・付録

- 学習に関連する動画、写真、資料を閲覧できる箇所にQRコードが示されており、インターネットに接続することでコンテンツを利用することができる。  
(各学年のQRコードの数 第1学年17か所、第2学年14か所、第3学年14か所)
- 以下の資料が主に示されている。
  - ・各領域の「学習の窓」一覧、「思考のレッスン」一覧、「情報整理のレッスン」一覧
  - ・「発想を広げる——表現テーマ例集」
  - ・学年に応じた発展的な読書教材（古典・文学史資料含む）
  - ・「語彙を豊かに」語彙一覧
  - ・「〇年で学習した漢字」「常用漢字表」等漢字一覧表
  - ・学年に応じた「学習のための用語」一覧

3 学習過程について

(1) 学習の見通し

- 巻頭に「学習の見通しをもとう」が示されている。
  - ・各領域で、「教材」「知識・技能」「思考力・判断力・判断力」の3項目で整理されている。
- 各領域の教材の冒頭に「目標」が示されている。
- 各領域で、学習過程が見開き、2段組で示され、目標に関連する活動が色分けされている。
- A、B領域では「生かす」で既習事項が示されている。
- C領域では「見通しをもつ」として目標と学習活動が示されている。

(2) 学習活動の取組のポイント

- 学習過程を示したページの下段に、各学習活動に取り組むためのポイントが文章やイラスト、図等を用いて具体的に示されている。
- 学習のポイントがキャラクターの会話で、文例とともに示されている。
- A、B領域では「学習の窓」で、学習で身に付けたい資質・能力が示されている。
- C領域では「学習の窓」では、その教材で学習する資質・能力が図などを用い、解説されている。

(3) 学習の振り返り

- A、B領域では、「つなぐ」で学習したことを日常生活や他教科で活用する場面例が示されている。
- C領域では、「振り返る」で身に付けた資質・能力を言語化したり、他の場面に活用したりする課題が設定されている。

4 語彙指導について

- C領域では、学習用語が「学習で用いる言葉」として示されている。
- 「言葉を集めよう」(1年)、「言葉を比べよう」(2年)、「言葉を選ぼう」(3年)という教材が示されている。
- 巻末資料に、テーマごとに言葉を分類した「語彙を豊かに」が示されている。

5 情報の扱い方について

- 各学年で学習する「情報の扱い方」に関する知識及び技能を教科書の巻頭に「思考の地図」として示している。
- 各学年に「情報の扱い方」に関する小単元として、「思考のレッスン」では「情報と情報との関係」、「情報整理のレッスン」では「情報の整理」がそれぞれ位置付けられている。
- 図化・表化等、情報を視覚的に表しながら思考を整理する方法が示されている。

